

公的セクターの透明性と信頼を構築する

World Bank (世界銀行) の呼びかけによるワシントン D.C.でのラウンドテーブルに世界中の公的セクターが参加し、Public Sector Pioneer Network が始動しました。このネットワークは、統合報告を通じて公的セクターの透明性の向上と、信頼の構築をサポートするものであり、他に類のない取組みです。

前 Comptroller General of the USA (前連邦会計検査院院長) の David Walker 氏と United Nations Development Programme Administrator (国際連合開発計画総裁) の Helen Clark 氏は、UK National Health Service (NHS) のような組織の専門家として、この新たな取組みを支持してくださいました。World Bank (世界銀行) グループが一同会し、公的機関が統合報告を導入すべき理由と方法を探索しました。

David Walker 氏はこのように言って議論に加わりました。「統合報告は、公的セクターにとってより一層重要ではあるが、実施に際し、多くの課題がある」。

イベントに先立ち、Administrator of UNDP (前ニュージランド首相) の Helen Clark 氏は言いました。「透明性、応答力、そして説明責任のある機関は、人々の生活の向上と持続可能な発展の実現において極めて重要な存在です。UNDP (国際連合開発計画) は、Pioneer Network に参加し公的セクターのレポートの発展に喜んで貢献する、と述べています。

公的セクターは、同じあるいはリソースが少なくなる中で、成果を維持または向上させなければならず、ますます努力を必要とします。どのような方法で、また、いかに十分な備えがあるかを伝えることは、重要な説明責任です。ネットワークの参加者は、公的セクターの目的に応じて、どのように「統合報告」が採用されるかについての見解や経験を共有します。

この取組みは IIRC と Chartered Institute of Public Finance and Accountancy (CIPFA、英国勅許公共財務会計協会) との連携で発展しています。現在、World Bank Group、UNDP (国際連合開発計画)、City of London Corporation、ウェールズ政府、英国政府が参加しており、公的セクターにおける「統合報告」の「発起人」であります。

新しいテクノロジーを利用しレポートを向上させる

「統合報告」Technology Initiative は、テクノロジーソリューションのリーディングカンパニーの協力により11月に始動しました。このプログラムは、テクノロジーがどのように企業報告の新しい潮流をサポートできるか、特に、世界各国で採用されている「統合報告」にテクノロジーがいかに応用できるかを調査するものです。

この取り組みは、レポートの制作と活用の両方のバリューチェーンにおいて、テクノロジーがどのように「統合報告」の実践をサポートできるかについて、理解し、深めていきます。

Credit360、Deloitte、Indra、PwC、SAP や Tagetik は、ネットワークが、新しいテクノロジーの利用を通じてレポートの革新を世界的に促進させる、という共通の信念のもと、イニシアチブに参加しています(更に登録される予定です)。これらの組織は、既に顧客に対して、レポートや経営管理の実践において新しい潮流を活用するサポートを既にしています。彼らは、「統合報告」Technology Initiative を通じて、経験を共有し市場に革新をもたらすことです。

「統合報告」Technology Initiative は、レポートの変革の顔となりあらゆる利益をもたらす、と確信する European Commission(欧州委員会) がオブザーバーとして参加します。その他の監督官庁と政策立案者は、今後、プログラムに参画することでしょう。

「統合報告」Technology Initiative の目的は、企業報告及び関連する経営管理において、テクノロジーがどのように使われているか；テクノロジーがどのように統合思考を高めるか；ソフトウェアがどのようにレポートのストーリーの要素を捉えられるか；テクノロジーがどのように監査や統合報告書の保証を助長できるか、を評価することです。結果として、参加企業は新しい時代の革新的なレポート制作やサービス、テクノロジーを生み出し、彼らの顧客に「統合報告」と統合思考を取り入れることを手助けするために、彼らの創造性やスキルを応用することが可能となります。

創立メンバーは、「統合報告」Technology Initiative の可能性についてコメントをしています。こちらをご覧ください。

南アフリカの経験から学ぶ

World Business Council for Sustainable Development (WBCSD、持続可能な開発のための経済人会議) は、南アフリカの企業による統合報告の実務について調査を行っています。調査は、「統合報告」にチャレンジした動機や必要条件について明確で簡潔な結論を提供しており、南アフリカの企業の実務経験に基づいたものです。また、「統合報告」は、簡潔であり、かつ戦略に焦点の絞られたレポートを後押しするとともに、一つの文書にまとめられた企業の戦略やリスクを、企業内外に早くそして簡単により良い理解をもたらすと、調査結果が示しています。

WBCSD は、南アフリカを拠点とする4社に詳細なインタビューを行い、調査レポートには、統合報告の利点、影響、そして統合報告の実践を通じて学び得たことが書かれています。「統合報告の実践または統合思考の推進は、セグメントや職務間の関係を構築、強化や、意思決定の改善をもたらす。それと同時に統合報告は、戦略、リスク、ビジネスモデル間の繋がりを作り、報告が依存している資本に光を当て、そして長期的視点にフォーカスすることで、報告すべき重要な事項についてより良い理解をもたらす」。

インタビューに答えた企業によると、「統合報告」のプロセスは、以下を必要とします。収集とサポート：組み立て；データや情報を照合するシステム；統合チーム；年1回と対照的な進行中のレポート；コンテンツを進展させる強固なプロセス。また、現存の実践に建て増すこと、監査と情報を確かめること、そしてネットワークに参加すること、この全てがプロセスを手助けすると提唱しています。

南アフリカの投資家もまた、統合報告書について次の見解を示しました。(i)「統合報告」は、業績を上げるための重要な経営管理ツールであるべき；(ii)「統合報告」の質はリーダーシップの質を知る手掛かりとなる；(iii)「統合報告」はコミュニケーションの戦略的方法であり、レポートの負担を増加させるものではない；(iv)「統合報告」は企業がステークホルダーと持つべき対話の一部である；(v)「統合報告」は取締役や経営レベルの統合思考の成果であるべき。

レポートは、投資家は南アフリカの企業の統合報告書の質が向上しており、取締役や経営陣のコミットメントが最も良い統合報告書では明白である、と締めくくっています。「統合報告書が改善するにつれ、投資家や経営陣はより良い判断を下すようになる」。

IIRC の CEO、Paul Druckman 氏は、レポートに関して次のように言っています。「このレポートは最も良くまとめられたレポートの一つです。明快で簡潔、そして仮説ではなく事実に基づいて結論を出しています。このレポートは、世界中の組織が南アフリカの経験を学べるとても貴重なものです。「統合報告」のチャレンジには何があり、どうやって始め、どのようなプラスの効果期待できるかについて、分かりやすく書かれています」。

南アフリカは、Johannesburg Stock Exchange (JSE、ヨハネスブルク証券取引所) 上場企業とともに統合報告をリードしており、「統合報告」を導入して4年になります。この取り組みは、統合報告を推奨する King Code of Governance of 2009 (King III) の原則に沿ったものであり、また、King III の原則を遵守するか、沿えない場合にはその理由を説明する、JSE の要求に

World Congress of Accountants (世界会計士会議) が採用への道を開く

ローマで開催された World Congress of Accountants 2014 (世界会計士会議 2014) において、「統合報告」が議題に上がり、本会議を含んだ3つのセッションで主題となり、パネリストである Gold Fields の CEO Nick Holland 氏、EmBW の CFO Thomas Kusterer 氏、Itaú Unibanco の CFO Alexandro Broedel Lopes 氏が、統合思考と統合報告を通して彼らの組織が経験したプラスの効果について説明しました。

Holland 氏は、「統合報告」が Gold Fields の投資家との架け橋となっていること、また、幅広い投資家を引き付ける上での「統合報告」の重要性について、熱く語りました。

IIRC Managing Director - Global Implementation の Neil Stevenson 氏は、当該会議がどのように「統合報告」の道を開くかについて、会議の概要をともにブログに書いています。

ローマで開催され、150 の国から4,000 人が参加した World Congress of Accountants では、重要な課題が挙げられました。全セクターのリーダーから頻りに挙げられた最も緊急な2つの課題は、長期計画とデータ及びテクノロジーの有効活用でした。

これらは、事業の見通しがより幅広い価値創造の考えへとシフトしていることを意味します(複数のスピーカーが繰り返しました)。IIRC の CEO、Paul Druckman 氏が「今日のビジネスにとってスピードと繋がりには当たりまえの今日になっていきます」と要約するように、これらは今日のビジネスの実態を映し出しています。ビジネスは、短期視点で経営管理をすると同時に、長期で成果を達成する計画を立てることが必要です。

カンファレンスでは、レポートの質を高めるチャンスについて力強い声明が出されました。IFAC 新総裁の Olivia Kirtley 氏が組織の代表者に統合報告の採用を促すよう後押し、IFAC の直前理事長、Warren Allen 氏は、「鉄は熱いうちに打て」と会計士へ呼びかけました。会計士は、投資家やその他ステークホルダーの要求に応えるレポートのイノベーションにおいて、ベストなポジションにいます。どのように継続的に付加価値を出せるかを示すことは会計士にとって最良の機会なのです。

しかし、これは何を意味するのでしょうか。統合報告は、長い道のりであり、何度かレポートのサイクルを回して初めて解が見えてきます。従って、会計士は変革マネージャーや戦略的思考の源泉になる必要があります。会計士は、取締役会へ出席し、戦略的経営管理の役割を果たしたり、レポートチームの指揮を取ったり、独立した立場から助言や保証を提供したりします。全ての過程において革新と価値創造増大の機会があるのです。

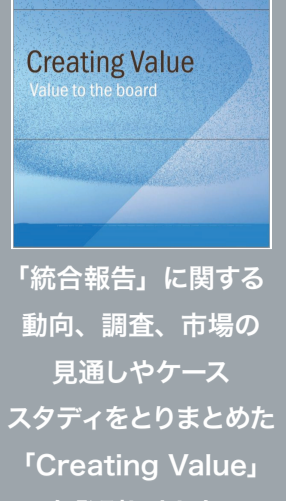
これらのチャンスをつかむことは、より多くの長期投資家を引き付けること、ビジネスモデルのより良い理解をもたらすこと、より良い長期の見通しと意思決定の改善などのあらゆる利益をもたらされます。

Energie Baden-Württemberg AG (EnBW) の CFO Thomas Kusterer 氏は、次のように述べました。企業の財務部門は、企業行動の変化と、企業を長期的価値創造へ方向づける、極めて重大な役割を担うことができます。財務は、プロセスを始めることができますが、これは企業全体の活動です。財務のリーダーは、統合思考と統合報告を成し遂げるため、組織横断的にさまざまなスキルセットを取り入れる必要があります。

金融の安定化と持続可能な発展に向けた変革のエージェントとして、会計士は、価値のある成果をもたらしていると World Congress of Accountants では感じています。私たちは、2018 年にオーストラリアで行われる次の会議で、レポートの実務におけるこの変革が実を結ぶことを楽しみにしています！

IFAC の Executive Director, Strategy, and Chief Operating Officer の Alta Prinsloo 氏は、Board と CFO の指導力が統合報告の成功の鍵であるとし、その理由をブログにて記しています。

「Creating Value」
発刊

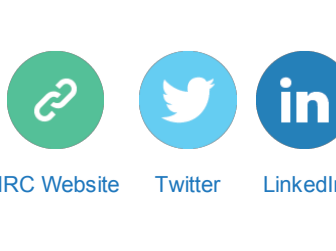


「統合報告」に関する動向、調査、市場の見通しやケーススタディをとりまとめた「Creating Value」を発刊しました。

「統合報告」の価値をボードに対して検討し、「統合報告」へチャレンジしている組織にお役に立てる内容です。

「統合報告」保証の討論に参加する最後の機会です。提出期日は2014年12月8日(月)へと一週間延期されました。

IIRC の Technical Director, Michael Nugent 氏が論じる討論の重要性について、ご覧ください。



Contact: pippa.whitaker@iirc.org